

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～21 台を示し、やや高めでした。

## 〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の38%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり23トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり33kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり692kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり77kgの水揚げで、前週の3.2倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり629kgの水揚げで、前週の4.6倍（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり65kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり618kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが1日1統当たり627kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり61kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/1～5/8の8日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、4日延17隻、総計1,485箱、1航海最高292箱、平均87.4箱。スルメイカ（20～30入）1,302箱、ケンサキイカ（2～3立）183箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>